

## 観音菩薩像

「夢違観音」として知られるこの高さ 86.9cm の銅像は、白鳳時代（7世紀後半）初期の作である。悪夢を良い夢に変えてくれる力があると信者たちに信じられていたため、このような呼び名がついている。法隆寺には国宝に指定されている観音像が4体あり、この像もそのひとつである。救いを求める人々の声を察知してその人に応じた救済をする菩薩として東アジアで最も広く信仰されている。他者の苦しみに対する憐れみの心から、自らの涅槃を遅らせているのである。